



## みんなのできる 地球温暖化防止活動

— IPCC第6次報告書を読み解く!! —

※マークは県の地球環境保全のキャラクターです

福島県地球温暖化防止活動推進センター

事務局長 鈴木和隆

(特定非営利活動法人つくしまNPOネットワーク)

### ■ IPCC

1988年に設立された気候変動に関する政府間パネル（IPCC）が8月9日、報告書を公表しました。正式な名称は、第6次評価報告書第1作業部会報告書（自然科学的根拠）と言います。2021年～40年の気温上昇幅が1.5度を超える可能性が非常に高いと警告しました。「人間の影響が大气、海洋及び陸域を温暖化させてきたことは疑う余地がない。」と強い調子で断言しました。1.5度は、温暖化対策の国際的枠組み「パリ協定」でみんなが約束した気温です。

### ■ 第6次報告書

IPCCは、2022年2月に第2作業部会（影響・適応・脆弱性）、3月に第3作業部会（気候変動の緩和）の報告書を公表し、9月に統合報告書を承認・採択する予定です。英語で書かれ、どれも長文です。幸い、報告書の冒頭には「政策決定者向け要約（SPM）」

があり、その概要（ヘッドライン・ステートメント）があります。

### ■ 緊急ZOOM勉強会

緊急ZOOM勉強会を、9月10日（金）13時30分から行います。ヘッドライン・ステートメントは、A・気候の現状、B・将来ありうる気候、C・リスク評価と地域適応のための気候情報、D・将来の気候変動の抑制に分けられ、全部で14あります。専門的な内容を、市民が理解できる言葉で一つずつ学びます。

例えば、B・2・気候システムの多くの変化は地球温暖化の進行に直接関係して拡大する、とはどのようなことなのか、関心の高い項目です。

### ■ みんなのできる地球温暖化防止活動

現在、福島県から委嘱されたつくしま地球温暖化防止活動推進員が約80名、県内各地で地球温暖化防止に関する活動をしています。啓発活動、講演会の講師、地域の行事への参加など、市民が地域で出来ることを地道に実施しています。推進員養成研修会を、10月29日（金）13時30分から郡山市中央公民館で開催します。

福島県センターでは、推進員の皆さんと一緒に、IPCCの報告書を読み解き学び、脱炭素社会に向けて地球温暖化防止活動を進めていきます。

(連絡先) <http://fukushima-ondankaboushi.org/>